いいせん

いい・医療連携・せんだい

便り 第24号

令和8年10月　川内市医師会在宅医療支援センター発行
住所…薩摩川内市大小路町70番26号
TEL…0996-22-4021
FAX…0996-22-8114
H P…https://iisennet.jp

ＱＲコードより
いいせんネット
ホームページに
アクセスできます

平成31年2月にいいせん便り発行を開始しました。各協議会の皆様にご協力いただき，このたび第24号を発行することができました。
バックナンバー(過去発行分)を「いいせんネットホームページ」で見ることができますので，よろしければご覧ください。

川内市医師会は、薩摩川内市と受託契約を結び在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでいます。在宅で医療や介護が必要になっても在宅医療を受けながら最期まで自分らしい生活をする「在宅医療」という選択肢を知っていただくために、在宅医療支援センターの活動や医療・介護職の取り組み、在宅で役に立つ豆知識などの情報を発信しています。

令和8年度 第1回 いいせんネット研修会 【R8.8.6】

テーマ 「身寄りなし問題を共に考える」
講　師　薩摩川内市地域包括支援センター　センター長　山内 一宏 氏
講　演 「身寄りのない高齢者等も安心して暮らせる地域社会づくり」

山内氏から、薩摩川内市における身寄り問題の現状や課題と今後の動きについて、事例を交えて講演がありました。その中で、令和10年4月から実施される社会福祉法改正に伴う第二種社会福祉事業や身寄りのない人の支援に関するガイドラインについても説明がありました。

≪身寄り関連テーマへの関心は高く、約90名の多職種の方が参加≫

後半のグループワーク「頼れる身寄りがいない高齢者等を支える多職種連携について」では、地域包括支援センターの方にファシリーテーターを務めていただき、意見交換をしました。様々な機関や職種の視点から課題や意見が出され、職種としての役割や地域とのつながり、チームとしての支援のあり方等を確認する機会となりました。

参加後のアンケートでも、多職種連携の必要性、多職種で支えていく心強さを感じたというご意見や継続的に顔の見える意見交換の場を望む声が聞かれました。

図5　頼れる身寄りがいない高齢者等・判断能力が不十分な者を対象とする第二種社会福祉事業の新設

○ 頼れる身寄りがいない高齢者等や判断能力が不十分な者に対し、日常生活支援・円滑な入院等の手続支援・死後事務の支援を、利用者のうち一定割合以上に無料又は低額の料金で提供する事業について、第二種社会福祉事業に位置付ける（福祉サービス・保健医療サービス等利用援助事業）。

福祉サービス利用援助事業		社会情勢等の変化　等
対象者	判断能力が不十分な者	単身世帯等の増加
事業内容	日常生活支援 ・福祉サービスの利用援助 ・日常的金銭管理サービス ・苦情等の預かりサービス	成年後見制度の見直しの動き
利用料	無料又は低額	生活上の課題の例 緊急連絡先がなく、入院・入所等の手続ができない 医療費の支払等の手続ができない 葬儀・納骨等の死後の手続をする人がいない 空き家や残置物の処分ができない

地域住民が生活支援員として意思決定支援をしながら尊厳のある本人らしい生活の安定を図る互助の仕組みとして機能

福祉サービス・保健医療サービス等利用援助事業の拡充・発展

法改正後	
対象者	頼れる身寄りがいない高齢者等＋判断能力が不十分な者
事業内容	日常生活支援（福祉サービス利用援助事業同様） 地域での生活を営むのに不可欠な支援を行うことが目的 ＋ 入院入所等手続支援 入退院・入退院等の手続が円滑に進められるよう支援を行うことが目的 例：入退院等の手続支援、緊急連絡先の提供、費用の支払代行 又は 死後事務支援 利用者が亡くなられた後、死後の事務が円滑に進められるよう、事前に準備しておくことが目的 例：葬儀・納骨・家財処分の契約手続支援、行政官庁への届出
利用料	資力の要件に該当する者については無料又は低額

○頼れる身寄りがいない高齢者等が地域で安心して自立した生活を継続するための支援策の充実
○判断能力が不十分な者の地域生活を支えるための総合的な権利擁護支援策の充実

社会福祉法等の一部を改正する法律案の概要（第33回社会保障審議会福祉部会 資料2）より

◆バイタルリンクを活用されていますか？

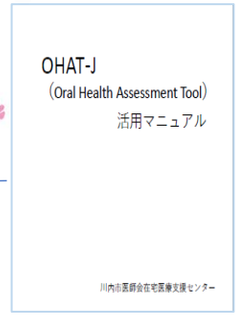
患者様の情報共有、入退院支援、施設入所等の情報共有など、さまざまな活用方法があります。
例：◎転院先や入所先へ患者さんのリアルを情報提供！
（リハビリや歩行状態・食形態などの様子も**画像・動画で共有可能**）
◎患者様の日々の様子を情報共有（**複数の事業所が連携している場合、1回の投稿だけで情報共有ができます！**）
操作方法や具体的な使い方など、ご説明（提案）に伺いますので、お気軽にお問い合わせください♪

VitalLink バイタルリンク。 多職種連携情報共有システム

いいせんネットホームページ利用されていますか

研修会などのお知らせ、医療介護資源の検索、バイタルリンク他各種資料のダウンロードができます。

口腔の評価ツール『OHAT-J』のわかりやすい活用マニュアルを作成しました



OHAT-Jは、歯科医療者でなくても簡便に口腔アセスメントができるツールです。OHAT-Jを活用することで、共通言語として患者様や利用者様の口腔内の情報を共有することができ、職種や地域を超えて同じ視点で把握することが可能になります。くわしくは，いいせんネットホームページトップ**【歯とお口に関する情報はこちら】**からご覧いただけます。

専門職向け出前講座・ミニ勉強会【もしバナゲームを通して考える人生観】

4月30日令和8年度第1回さつまるネット研修会（15名）、5月8日川内市医師会立市民病院（12名）、7月28日ミニ勉強会（2名）の参加がありました。

鹿児島市内の医療機関を訪問しました

7月23日（木）薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター小丸氏と川内市医師会在宅医療支援センター職員3名で、川薩地区と関わりの多い鹿児島市医師会病院・JA鹿児島厚生連病院・米盛病院・大勝病院の地域連携室を訪問し、課題や情報の共有をしました。

≪ 軽度認知機能障害（MCI）について ≫

川内市医師会　上村 光平 先生

MCI（軽度認知障害）という言葉をよく聞くようになっています。軽度認知障害とは、正常（脳の機能が健常な状態）と認知症の中間の段階で、MCI（Mild Cognitive Impairment）と呼ばれています。記憶や判断などを行う脳の機能（認知機能）がいくらか低下しているものの、自立した日常生活を過ごせる状態を指します。MCIの状態からさらに認知機能が低下し、日常生活に支障をきたし介護が必要な状態になると認知症と診断されます。しかし必ずしもMCIの人が認知症に進むわけではありません。MCIの原因によって回復することもあります。

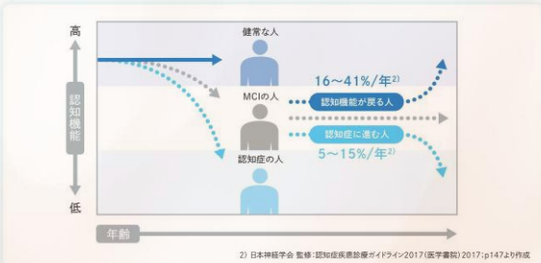
MCIの原因は、脳の病気だけでなく、体の病気や精神的なストレスの場合もあります。MCIから認知症に進みやすい原因の１つに、アルツハイマー病が挙げられます。MCIの原因は様々なので、原因を早期に発見してMCIから認知症へ進行しないように適切な対策を行うことが重要です。現在のところ、認知症の治療薬は、進行を遅らせる薬があるのみです。認知症の中で一番多いのが、アルツハイマー型認知症で、診断がついて初めて認知症の薬が使用できます。今回、MCIの状態から治療を開始できることになったのが、新しい抗アミロイドβ抗体薬です。このようにMCIから早期アルツハイマー病に使用できる治療薬が増えたことで、MCIを診断する重要性が高まっています。

（主な初期症状とサイン）

- **記憶の低下:**最近の出来事を忘れる、同じ話を何度も繰り返す、約束を忘れる。
- **物の管理:**物の置き場所を忘れて探し物が増える、同じ物を何度も買う。
- **言語の変化:**会話の中で「あれ」「これ」といった指示語が増え、言葉がすぐに出てこない。
- **段取りや注意力の低下:**家事や仕事に時間がかかる、以前のようにテキパキとこなせなくなる。
- **見当識の乱れ:**日付や曜日、よく知る場所で迷うことが少しずつ出てくる。

軽度認知障害（MCI）とは?

軽度認知障害は「脳の機能が健常な状態」と「認知症」の中間の段階で、MCI（Mild Cognitive Impairment）とも呼ばれます。記憶や判断などを行う脳の機能（認知機能）がいくらか低下しているものの、自立した日常生活を過ごせる状態を指します。MCIの状態からさらに認知機能が低下し、日常生活に支障をきたし介護が必要な状態になると、認知症と診断されます。
しかし、必ずしもMCIの人が認知症に進むわけではありません。MCIの原因によっては現状が保たれたり、回復したりすることもあります。



軽度認知障害（MCI）の原因

MCIの原因は、脳の病気だけでなく、体の病気や精神的なストレスの場合もあります。
MCIから認知症に進みやすい原因の1つとして、アルツハイマー病が挙げられます。
MCIの原因はさまざまなので、原因を早期に発見して、MCIから認知症へ進行しないように適切な対策を行うことが重要です。

日本神経学会 監修:認知症疾患診療ガイドライン2017(医学書院):2017:p6
Alzheimer's Society. Factsheet 470LP June 2019
https://www.alzheimers.org.uk/sites/default/files/2019-09/470lp-what-is-mild-cognitive-impairment-mci-190521.pdf (2023年6月9日閲覧)より作成

在宅医療支援センターでは、介護施設や医療機関の職員の方々を対象とした出張講座も承っております。在宅医療や歯科・口腔に関する研修会、人生会議（ACP）をテーマにした講座など、現場のニーズに合わせて企画いたします。職員研修や地域連携の一環としてご活用ください。（**費用はかかりません**）

在宅医療支援センター Instagram

KA_SENDAI_ZAITAKU